

特 集

こんなときどうする!? 消化器外科の 術中トラブル対処法

術後合併症は一定の頻度で起こりうるものであり、その発生率を少しでも低下させるために様々な工夫がなされているところである。また、起きた場合の対処法もある程度定型化しており、外科医にはそれを学ぶ機会も十分にある。一方で、術中のトラブルには待ったなしでの対応が必要である。時には、さらに事態が悪化しないよう応急処置を施したうえで応援を求めるほうが賢明な場合もある。多くのトラブルは一瞬にして起きるものであり、文字通り頭が真っ白になる場合もあるが、まずは起きてしまったことに対する最善の対処が求められる。そこでは術者、チームのみならず、最終的には施設全体の力量も問われる。トラブルを未然に防ぐためのノウハウをもち、実践することも重要であるが、本特集では特に「起きてしまった場合の対処」を中心に、対処場面のビデオも可能な範囲で呈示していただいた。いざという時の対応を学んでいただければ幸いである。